

江府町の地域おこし協力隊の活動日記  vol.4

『カサラファームでイベント開催しました』

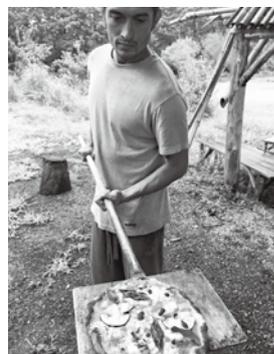
9月11日(火)、市民農園カサラファームにて、珈琲イベント「ハナププ式珈琲セレモニー」を開催しました。「ハナププ」とは、インドネシア・スマトラ島の言葉で「なんとかなるさ」という方言です。

これは、スマトラ島でコーヒー農家さんと活動している三浦隆典さんが全国各地を回りながら行っているイベントで、今回カサラファームに来てくれました。

当日は、江府町内外から8名の方が参加してくれて、スマトラ島で代々受け継がれている珈琲農園で育てられたスペシャルな珈琲豆を使い、焙煎する際に出る香りや豆の音を感じようと、最後は焙煎したての珈琲をみんなで味わいました。



焙煎の音を感じて



石窯で焼き上げます



自家製カサラピザ

その日は珈琲だけでなく、自家製カサラファームピザも作りました。具材は自家製トマトソースと季節の野菜で、石窯で香ばしく焼き上げました。参加された方からは大好評でした。

今後もカサラファームで染物やフードイベントの開催を考えていますので、ぜひ遊びに来てください！

(菜畑 才文)

イベントに参加します

11月3日に行われる、江府町文化祭&JA江府支所まつりに出店します。遊びに来てください！



くわはた さいもん
菜畑 才文 隊員

玄米麺など、カサラファームで採れたものを使った加工品、販売します。



いわさき ちえ
岩崎 智恵 隊員

柿原炭組合の方と一緒に参加します。クロモジの紹介もします。

日野高レポート 番外編 

今回は、1年生が江府町の事業所で行った、フィールドワークについてお伝えします。9月27日(木)、日野高1年生が江府町の6事業所を訪れ、仕事についてのインタビューを行いました。これは、高校の中だけでは出会えない多様な大人(社会人)の話を聞くことで、自分の将来について考えるきっかけを作ってもらおうという授業の一環です。生徒達は、「なぜこの仕事を選んだのですか」「就業時間や休暇はどのようになっていますか」と質問し、働く事とは何かを学んでいました。

ダイセン縫製を訪れた生徒達は、普段見る事の無い服作りの現場を見学し、「作業工程が多くて大変そう」「細かい箇所まで検査していて、集中力がすごい」と感想を述べました。



作業場内を見学する日野高1年生4名